



# 近中通信

かかりつけ医と  
近中を結ぶ

2021年1月  
第88号



## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年2020年の元旦は、4年に一度のオリンピックイヤー、しかも自国東京で開催されることで、競技選手のみならず多くの国民が期待に胸を膨らませ、華やいだ空気が満ちていたと思います。しかし現実は、世界中でcovid-19の大流行となり、オリンピック東京大会は1年延期となりました。オリンピック、オリンピックと浮ついた気分は消え去り、目に見えないウイルス感染の恐怖が人々の心を襲い、社会・経済活動の大幅な制限や自粛が行われました。他方では、落ち込んだ経済活動の活性化を企図してGo to キャンペーンなるものも行われ、人々の心は自粛と活発化の間を揺れ動いたことでしょう。新型コロナ対策や受診控えが医院、病院の経営を苦境に追い込みました。第1波から第3波と流行の波が進むにつれてPCR検査陽性者、重症患者が急増し、医療崩壊の可能性まで叫ばれました。2020年の元旦に、どれくらいの人がこのような事態を予見していたでしょうか？

世の中には、物事の流れの中である程度予測が可能なことと、突発的に降ってわいたように生じる事態があります。後者は、「想定外」の自然災害や事故として、仕方がないものと半ばあきらめの境地で捉える方も多いと思います。しかし、阪神大震災や東日本大震災に伴う大津波のように想定外と言われる災害であっても、地震や津波が生じるということ自体は歴史を見れば周知の事実であり「想定範囲内」の事象です。ただ、その発生日時や規模が正確に予見できないことが「想定外」であったわけです。covid-19のパンデミックにしても、未知の病原体が大流行を来すことはこれまでから想定され、一部では検討や準備もされていたようです。ただ、その発生時期や広がり方は予知できていませんでした。今後もいつ起こるか、どれほどの危険性かの予知はできない状態が続きます。それでは、今後も「想定外」の事象に翻弄され続

けるのでしょうか？

予知ができなくても早期発見、迅速かつ的確な初動があれば被害は最小に食い止めができるはずです。いろいろな「想定外」事象の事後検証で、いくつかのターニングポイントが指摘されることはまれではありません。あの時新型コロナウイルスがヒトからヒトに感染することが明らかになっていたらパンデミックが阻止できたかも、あの時高台に逃げていたら津波に巻き込まれなかつたのに。医療事故の事後検証でも、「たら」「れば」の世界です。あの時気づいていたら、あの時○○していたら、医療事故は起らなかったのに。後方視的にみれば、「たら」「れば」は容易に誰でもが思いつきます。重要なことは、どんどん前向きに進んでいく流れの中で、些細であっても重要なことがらを見逃さないことです。そして、それに対して適切な判断・行動を行うことで、多くの事象を「想定範囲内」にとどめることができます。

「気づきの力を高めること」を本年の抱負したいと思います。何が起こるか予知はできませんが、「気づきの力」を高めて何事に対しても被害を最小にとどめ、「想定外」の事態に陥らないように努力したいと思います。

2021年はどのような年になるのでしょうか？ワクチンの開発でCovid-19が終息するのか、東京オリンピックが開催されるのか、バラ色の1年が待っているのか。いずれにしても、今年は良い1年であることを望みます。なお、本年は病院ホームページを一新します。病院ホームページは社会に向けた病院の顔と言えますが、旧くなっていた点も目立ちましたので時代に即したものに更新していきます。地域医療支援病院として地域の皆様との連携をより一層強化してまいりますので公立学校共済組合近畿中央病院を本年もよろしくお願いします。

令和3年元旦

病院長 甲村 英二

# アブレーション始めました

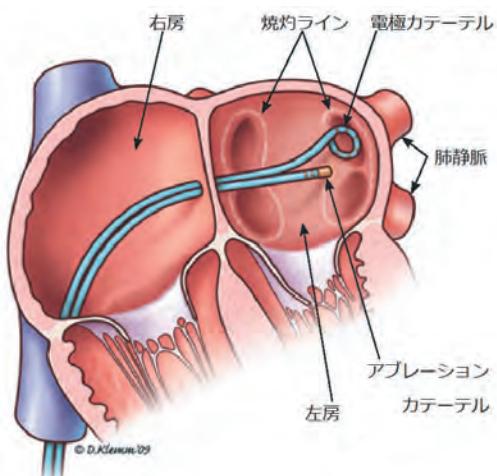
循環器内科医長 林 済亭

## ●アブレーションの歴史

カテーテルアブレーションとは、カテーテルを用いて不整脈回路を「焼灼」することを言います。その歴史は意外と浅く、1981年に犬のヒス束部位に電気ショックをすることで房室ブロックを作成できる、というものでした。偶然にヒス束にカテーテルがあたり、房室ブロックが生じたことから発案されたとのことです。早速、その翌年にヒトへも臨床応用されました。今では考えられない危険な手法ですが、上室性の頻脈性不整脈に対してヒス束部位での直通電流ショックを行い、頻脈を停止できたことが報告されました。決して治療成績は良いものではなく、安全性、有効性など様々な課題を解決しながら現在の高周波エネルギーによるアブレーションへ進化していきました。

## ●アブレーションの方法

電極カテーテル、焼灼用カテーテルを大腿静脈から挿入し、透視下を確認しながら心臓まで到達させます。電極カテーテルにより心内の異常電気信号が発生している部位を見つけ、焼灼用カテーテルを用いて通電を行います。治療時間は3時間程度であり、入院期間は4泊5日から5泊6日程度を必要とします。



## ●当院のアブレーションについて

当院では2020年9月からカテーテルアブレーションを開始しました。原因不明の動悸に対して長時間心電計（2週間モニター可）や植込み型ループレコーダーを用いて、心房細動、発作性上室頻拍と判明しアブレーションに至ったかたもいらっしゃいます。

アブレーションを正確に、安全に行うためにCarto®3という心臓マッピングシステムを導入し、カテーテルが心臓のどの部分を通過しているか正確に判断できることを可能にしています。またカテーテルを心臓に当てている力（コンタクトフォース）、通電時間、通電出力を総合的に数値化したアブレーションインデックスという指標を用いて、焼灼不足、焼灼過多を避け治療成績の向上を目指しています。

目まぐるしく発達する不整脈領域ですが、地域に密着して一人ひとりの患者さまを大切にし、丁寧な治療、わかりやすい説明を心がけております。心房細動、上室頻拍などの不整脈でお困りの際はお気軽にご相談ください。



## ホームページリニューアルのお知らせ

こちらからご確認ください  
<http://www.kich.itami.hyogo.jp/>



### ●どのデバイスにも対応しています

この度、当院のホームページを全面リニューアルいたしました。当ホームページは、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけれるレスポンシブサイトで作成しています。今後も内容の充実を図るとともに、最新の情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

### ●特設サイトも充実しました

#### ・看護部特設サイト

看護師の教育、研修、採用情報、ブログなどを掲載しています。

#### ・臨床研修医・専攻医特設サイト

臨床研修医、専攻医向けの採用に関する情報を詳しく掲載しています。

#### ・産婦人科特設サイト

産科、婦人科、不妊治療について詳しい情報を掲載しています。

### ●ホームページより動画配信をします

YouTube公式アカウントを開設しました。今後は、ホームページと連動して当院のイベント・健康講座・採用関連などを動画配信を予定しております。

### ●当院公式イメージキャラクターが誕生しました

ホームページリニューアルを機に当院のイメージキャラクターが誕生しました。名前は「きんちゅう」と「ぎんちゅう」といいます。当院はよく「近中」と略されることが多いため、金色のねずみといつも一緒にいる銀色のねずみが生まれました。「金」は運気を豊かにし、「銀」は心の豊かさを引き出すと言われています。来院する人、働く人が明るくなれるような存在になればと思います。



## 新任医師を紹介します



脳神経外科医長  
中西 克彦

令和2年10月より脳神経外科で勤務させて頂くことになりました中西と申します。脳神経外科疾患は脳卒中、脳腫瘍等の多岐にわたり、治療も様々な選択肢や他科との綿密な連携がより重要になってきていると考えます。そのため、患者さまはもちろん、ご家族様にも理解して頂きやすい説明を心掛け、高い水準の脳神経外科診療を皆様に提供できるように日々努力して参ります。

微力ながらも皆様の治療に貢献できればと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。



麻酔科医長  
寺町 香織

高齢化社会が進む中、医療器具、医薬品が進歩していくことで、手術を受けられる方の年齢もどんどん高くなっています。わかりやすい説明を通じ、安心して、安全な手術を受けていただけるよう、貢献していきたいと思います。



脳神経外科医員  
中村 元紀

初めまして、10月1日より近畿中央病院の脳神経外科レジデントとして働かせて頂くことになりました、中村元紀と申します。まだまだ至らない点も多々あると思いますが、「患者さまに寄り添う医療」を心掛けて、一生懸命、そして迅速かつ丁寧に診療に取り組んでいきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 登録医の募集について

登録医は、紹介患者さまがご入院の際に  
「開放型病床」をご利用のうえ共同診療が可能です。

そのほかには

- ✓ 勉強会・講演会等のお知らせ
- ✓ 図書室など院内設備の利用
- ✓ 患者用広報誌で医院のご紹介
- ✓ 当院H P及び院内フロアで医院のご紹介

などの利点がございます。

登録医への申請をご希望の場合は、**地域医療係**  
(**072-781-3712 内線 540**)までご連絡ください。



## 検査依頼について

地域医療室では各種検査依頼を受付けております。ご予約は以下の手順でお取りしております。  
ご紹介の程よろしくお願い申し上げます。

### 【検査依頼の流れ】

- ① 紹介状を地域医療室までF A X願います。  
当院紹介状書式の場合、検査依頼に○印をお願いします。
- ② 当院から予約票を返信いたします。  
胃カメラ・大腸ファイバー等については検査の承諾書、注意事項説明書等もお送りしますので、患者様へのご説明をよろしくお願ひいたします。
- ③ 検査実施後、結果についてはご紹介元の病院・医院様へ郵送いたしますので、患者様へのご説明をお願いします。



下肢血管エコー



ABI (血圧脈波)



頸動脈エコー



胃カメラ・大腸ファイバー

上記のほか、地域医療室で予約可能な検査項目

骨塩定量、CT/MRI単純・造影、骨シンチ、  
脳血流シンチ、ホルター心電図、  
腹部エコー、心エコー、24時間血圧

 FAX 072-781-9689

地域医療室専用  
24時間送信受付